

農業参入など 学ぶセミナー

埼玉・さいたま市で

【埼玉】県と県農業会議、彩の国埼玉・農業法人協会は9月10日、さいたま市のソニックシティホールで農業法人経営支援セミナーを開いた。県内の法人化を考える農業者と農業参入を考える企業の関係者など約220人が参加した。

第1部は企業の農業参入をテーマに、栃木県宇都宮市に農業参入した(株)ファーマーズ・フォレストの松本謙代表取締役社長が「継続した地域活性と企業の農業



参入に必要なポイント」と題して講演し、写真。同社は46軒の滞在体験型ファームパーク「道の駅うつのみやろまんちっく村」を核に、地域を巻き込んだ新しい農業を行う。松本さんは「これから地域が主役となるビジネスが必要。企業の農業参入は地域との調和が最大のポイント」と話した。このほか、埼玉県滑川町で5軒の施設トマト栽培を行う(株)グリーンファームらばんの渡邊聖文代表取締役が事例発表を行った。

第2部は農家の法人化をテーマに、山梨県でブドウ生産とワイン造りなどを行う(有)ぶどうばたけの三森かおり取締役が講演。(株)一心園の山崎素治代表取締役と(株)あらい農産の新井健一代表取締役が事例発表した。アンケートでは参加企業

から行政に農地情報の提供や地権者との交渉、補助金・融資などの支援を期待する回答が多く寄せられた。